

導入事例
らくらく
ボード

ゲーム感覚でサクサク進む、生徒参加型のアクティブな授業! 教材作りにパフォーマンス録画も。先生方の「やりたいこと」を現実に



和歌山県紀の川市の荒川中学校は、紀の川の豊かな自然に囲まれた、地域に根差した公立中学校です。生徒の皆さんが学ぶのは、紀州材をふんだんに取り入れた令和元年完成の新校舎。地元の産業とリンクした多彩なカリキュラムも同校の特色です。そんな同校の英語科で、「らくらくボード」による生徒参加型の授業を実施されているのが國友恵美子先生です。そのお取り組みについて、詳しくお話しいただきました。さらに、吉田典弘校長、小栗由季子教頭、紀の川市教育委員会 教育総務課 船津真理主任指導主事、北澤健一主任にもご同席いただきました。



導入商品
らくらくボード
IWB-651EB
※ディスプレイは別売りです。

全員参加の「不規則動詞リレー」で集中力アップ!

「らくらくボード」を活用して「不規則動詞リレー」を実施されていましたが、國友先生が考案されたものでしょうか。

國友先生: PowerPointで自作した「不規則動詞活用表」にゲーム的な要素を加えてみました。不規則動詞の現在形をスライドに表示し、指名された生徒がその過去形、過去分詞を答え、次の生徒にパトタッチするというものです。ストップウォッチでタイムも計測し、できるだけ速く、正確に、クラス全員をリレー形式で参加させています。このスタイルにすることで全員に機会が回ります。タイムを計測しているので、適度な緊張感も生まれ、集中力も高まっているようです。

教材は自作されているのでしょうか。その場合、準備に時間などはかかりますか。

國友先生: 授業の内容に合わせてボリュームを増減させたり、シャッフルさせたりと変更を加えることもありますが、準備にかかる時間は10分から15分程度です。電子化された教材は編集も簡単ですので、生徒の興味関心に合った「旬」の素材を盛り込むこともできます。人気の芸能人や時事ネタなど、教科書には出てこないような話題もどんどん盛り込んで、オリジナルの教材作りができる点に面白みを感じています。電子黒板があれば、こうした様々な資料を動かしたり、音を出したり、さらにそれに書き込みしたりといったことが簡単にできて、活用の幅が広がります。

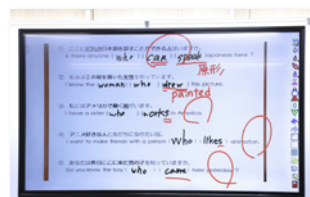


使いやすさと美しさに感動。「思ったように書き込みできるのはさすが」

以前はデジタル教科書を利用するためにプロジェクターを使っていたそうですが、課題もあったとか。

國友先生: 画像がぼやけて見えにくいという難点がありまして、生徒たちがよく見えるように、いつも気を使っていました。「らくらくボード」はディスプレイも大きく、しかも鮮明にビジュアルが表示されますから安心ですね。生徒からは画面が明るくて見やすいと好評です。また、プロジェクターの場合は、音を出したければスピーカーを接続するなど、やりたいことに応じて準備が必要でした。電子黒板には授業で使う基本的なツールはオールインワンで搭載されていますから、このような手間は必要ありません。もちろん音もクリアです。

吉田校長: 現状では電子黒板の数が足りておらず、英語科に優先して使ってもらっています。ほかの教科ではまだプロジェクターを活用している先生方も多いのですが、黒板の代わりにホワイトボードが設置されている特別教室とは違い、普通教室ではホワイトボードシートを貼るなどの手間もかかっていますね。



使えば使うほど可能性が見えてくる。「らくらくボード」に期待すること

電子黒板について、ビジョンなどがありましたら教えてください。

北澤主任: 電子黒板には、効率化という面でも期待しています。電子データは劣化なく再利用・共有できますから、先生方の手間も削減できるでしょう。また、例えば板書は、先生があらかじめ用意して画面に表示してくれば、時間の削減にもつながります。削減できる部分は削減して、生徒同士で話し合ったり、じっくり思考したりといった、より本質的な学びのために時間を使ってもらえるとうれしいですね。

船津主任指導主事: 中には新しいツールを使うことに不安を感じる先生方もいます。また、操作方法を新たに覚えることが負担だという方も。このようなケースでは、「らくらくボード」のような簡単に使える機器は有難いですね。苦手意識のある先生方も、使ってみれば國友先生のように、きっと便利さが実感できるはず。まずは触ってみることをお勧めしていきます、それを入り口として、さらに活用を進めてもらえればと思っています。

小栗教頭: 荒川中学校は、若手の先生方が様々な挑戦を行い、それをベテランの先生方が見守るという、教える側の教師にとっても非常にいい環境の学校です。ICTに関しても、皆が前向きに取り組んでおり、さらなる活用の推進と相乗効果を期待しています。

取材にご協力いただいた先生



紀の川市立
荒川中学校
吉田 典弘 校長



紀の川市立
荒川中学校
小栗 由季子 教頭



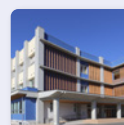
紀の川市立
荒川中学校
國友 恵美子 主任



紀の川市教育委員会
教育総務課
船津 真理 主任指導主事



紀の川市教育委員会
教育総務課
北澤 健一 主任



CLIENT DATA

導入学校 / 紀の川市立
荒川中学校
所在地 / 和歌山県紀の川市
設立 / 昭和22年